

日本特別ニーズ教育学会第23回研究大会（埼玉）終了報告

2017年10月14日（土）・15日（日）、埼玉大学にて日本特別ニーズ教育学会第23回研究大会が開催されました。両日ともあいにくの雨、気温も低くなりましたが、会員・臨時会員を合わせて、150名の参加をいただきました。

1日目は、桂聖氏による教育講演「授業のユニバーサルデザインー全員が楽しく学び合い『わかる・できる』国語授業づくりを中心にー」からスタート。教育講演と、続くシンポジウム「授業のユニバーサルデザインと合理的配慮の提供」には、県内の現職教員の方を含め臨時会員の参加も多く、フロアからの質問も交え、様々な論点が提示されました。また、貧困やマイノリティなど現代的課題を取り上げた理事会企画である課題研究2件も大変盛況で、活発な議論が行われました。

2日目は、自由研究発表が34件、ラウンドテーブルが7件、実に多彩なテーマが並び、特別ニーズ教育研究の可能性が大いに感じられるものとなりました。

前後しますが、1日目の懇親会には約30名の参加があり、楽しい夕べとなりました。次回大会開催校である大阪体育大学からは、学部生をはじめ若いメンバ

一の参加もあり、アットホームな雰囲気の中、埼玉大学からのバトンがしっかりと引き継がれました。

今大会はスタッフ数も少なく、準備段階から、皆様には様々のご心配やご不便をおかけいたしました。改めまして、今大会にご参加いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

文責：大会実行委員 山中冨子（埼玉大学）